

令和 7年度 10月 ひだまりの部屋 支援カリキュラム

前月の子どもの姿

- ・学校が始まって約1ヶ月が経ち、子どもたちの普段の生活リズムに慣れてきた様子。
- ・熱中症への心配や、中旬頃にはコロナの感染もあり、お出掛けが減ってしまう。これから涼しくなっていくので、外出の機会を増やして施設以外の人と関わる機会を設けていきたい。
- ・今後コロナだけではなく、インフルエンザなどその他の感染症も流行するため、手洗いうがい・マスクの着用・咳エチケットなど、もう一度見直し・徹底させていきたい。
- ・低学年の子たちがレゴ等で遊んでいる時に言葉遣いが荒いことがある。言葉の活動でちくちく言葉・ふわふわ言葉について話をしてから、高学年の子たちは気を付けてくれている姿が増えたように思う。職員の呼び方についても、夏休み後に全体で話をしたことでかなり改善されたと感じる。
- ・自分の気持ちを発表する場、話し合う場をちくちく言葉・ふわふわ言葉での活動で持つことができた。今後もこういった時間を取り、自分に向き合ったり言葉にしたりする体験をさせていきたい。

	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性	
ねらい	・自分で意識してロッカーの整理整頓や手洗いうがい等の日常動作を行おうとする。 ・清潔に留意し快適に過ごせるようにする。 ・自分の体調の変化を職員に知らせようとする。	・微細運動等を通して身体の細かな動かし方を身に付ける。 ・体力や筋力を付ける。 ・指先の器用さを養う。 ・バランス感覚を養う。 ・姿勢保持ができるようになる。 ・手と目の協応を促す。	・手と目の協応を促す。 ・音に合わせて動く等、課題や状況に合わせた適切な行動ができる。 ・集団の中での適切な行動形成を促す。 ・色や音の変化を感じ取ることができる。	・当番等を通じて友だちの前で話す経験をする。 ・遊びを通して様々な相手と関わる機会を持つ。 ・場面や状況に応じた言葉遣いをしようとする。 ・相手の話に耳を傾けようとすることができる。 ・自分の思いを具体的な言葉で伝えようとする。	・友だちや職員と協力したり相談したりしながら活動を進めていく経験をする。 ・外出先では場の状況に合わせて行動しようとする。 ・非常時にどう行動すれば良いかを知る。 ・お出掛けを通して施設外の地域の人と交流する機会を持つ。 ・地域イベントへの参加準備を通して、責任を持って役割を果たそうとする経験をする。	
内容	・毎日の健康観察 ・日常のロッカーの整理整頓 ・手洗いうがい ・生活習慣の指導（1回/月）	運動あそび（〇〇キャッチ）		あいさつ当番		
		音楽遊び（カップス）			防犯教室	
		工作（牛乳パックおばけ・ランタン・コースター）			お出掛け（のんほいパーク）	
		言葉遊び（並べ替え・穴埋め言葉・CM作り）				
		知育（牛乳パックジェンガ・洗濯物干しゲーム）				
				共生まつりの準備		

反省
気づき

その他

確認印

--	--	--	--	--